







WHOにおけるインフルエンザパンデミックフェーズ

WHO の2005 年版分類による パンデミックフェーズ	パンデミック対策の 各フェーズにおける 目標	状況別の 追加小項目	分類
フェーズ1 (前パンデミック期) ヒトから新しい亜型のインフルエンザは検出されていないが、ヒトへ感染する可能性を持つ型のウイルスを動物に検出 	世界、国家、都道府県、市区町村のそれぞれのレベルで、パンデミック対策を強化する		鳥インフルエンザ
フェーズ2 (前パンデミック期) ヒトから新しい亜型のインフルエンザは検出されていないが、動物からヒトへ感染するリスクが高いウイルスが検出 	ヒトの感染拡大のリスクを減少させ、仮にヒト感染が起きたとしたら、迅速な検知、報告が行われる体制を整備する		
フェーズ3 (パンデミックアラート期) ヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認されているが、ヒトからヒトへの感染は基本的に無い 	新型ウイルスを迅速に検査診断し、報告し、次の患者発生に備える	感染が見られている地域であるか、そのような地域との人的交流、貿易があるか否か、また影響が無いかに基づき、対策の細部を適宜改良する	新型インフルエンザ
フェーズ4 (パンデミックアラート期) ヒトからヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認されているが、感染集団は小さく限られている 	隔離をはじめとした物理的な封じ込め対策を積極的に導入し、ワクチンの開発と接種などの、事前に計画し、準備した感染症対策の実施に必要な時間的猶予を確保するために、最大限努める		
フェーズ5 (パンデミックアラート期) ヒトからヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認され、パンデミック発生のリスクが大きな、より大きな集団発生がみられる 			
フェーズ6 (パンデミック期) パンデミックが発生し、一般社会で急速に感染が拡大している 	パンデミックの影響を最小限にとどめるためのあらゆる対策をとる	上記以外に、パンデミックの小康状態と第2波への対策	
後パンデミック期 パンデミックが発生する前の状態へ、急速に回復している	パンデミックによる多方面への影響を評価し、計画的復興と対策の改善を実施する		

フェーズ2～6については、さらに、海外のみで発生した場合は(A)、国内で発生した場合は(B)に分ける。

現在のフェーズは3Aです。

(表は、鳥根県感染症情報センターより引用)

目的は

企業の従業員と家族の安全を守る。

企業の社会的責任として事業を継続する事です。

主な対策項目は

情報収集
 従業員への事前教育、啓発
 感染予防、感染拡大防止の方法
 (マスク、手洗い、うがい、消毒など)
 備蓄物

出張や会議の自粛
 在宅勤務
 外出の自粛
 従業員や家族が感染した場合の保健所や病院への連絡
 ・ステークホルダー(利害関係者:一般消費者、顧客他)への対応

— BCP策定 構築代理 —
株式会社 杉江防災

中小企業庁公表BCP構築企業(第1号)
 BCAO認定事業継続初級管理者
 大津市登録 産業活性化アドバイザー(BCP)

三重県登録専門家(BCP)
 fisc登録専門家(BCP)

滋賀県大津市小野164番地1 TEL.077-594-3004(代)/FAX.077-594-3069
 URL: http://sugiebosai.com E-mail: sugiebosai@mbm.nifty.com

【営業内容】 消防、防犯、弱電設備の設計 施工 保守

BCP策定 構築代理業務、BCPセミナー受付中 (中小企業庁「中小企業BCP策定運用指針」の概略説明)

BCPに関する事など、どうぞお気軽に
 当社までお問い合わせください。